

## 「医療的ケア児支援センターの支援内容に関する調査」

### ご回答いただいた施設の方々へ

この度は、私たちがお願いしたアンケートに快くご回答いただき、本当にありがとうございました。皆さまのおかげで全国 25 施設からの情報を集めることができました。遅くなりましたが、集計結果を報告させていただきます。

ご回答いただいた中で、各都道府県にセンターが 1 か所しかないところが 68%であり、運営形態は 80%が委託であることがわかりました。また最も相談の多い年齢が 1~5 歳で 75%を占めています。いろいろな独自の取り組みや課題を挙げていただいて、課題を解決するために必要なのは「専門性を持った人材の育成」との回答が半数近くありました。コーディネーターを含む専門性を持った人材の育成には、全国規模の支援センター同士のネットワークづくりが必要と考えます。

「医療的ケア児支援法」の基本理念に謳われているように、「居住地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられる施策」を実現させるために、私たち NPO 法人も微力ながらお手伝いさせていただきたいと考えております。

まずは、今回の集計結果が皆さまの今後の活動に少しでもお役に立てば嬉しく思います。今回の結果を踏まえて、さらに一步踏み込んだアンケートをお願いすることがあるかもしれませんが、その節はまたよろしくお願い致します。

2023 年 7 月吉日

NPO 法人医療的ケアネット 理事長 荒木 敦

NPO 法人医療的ケアネット

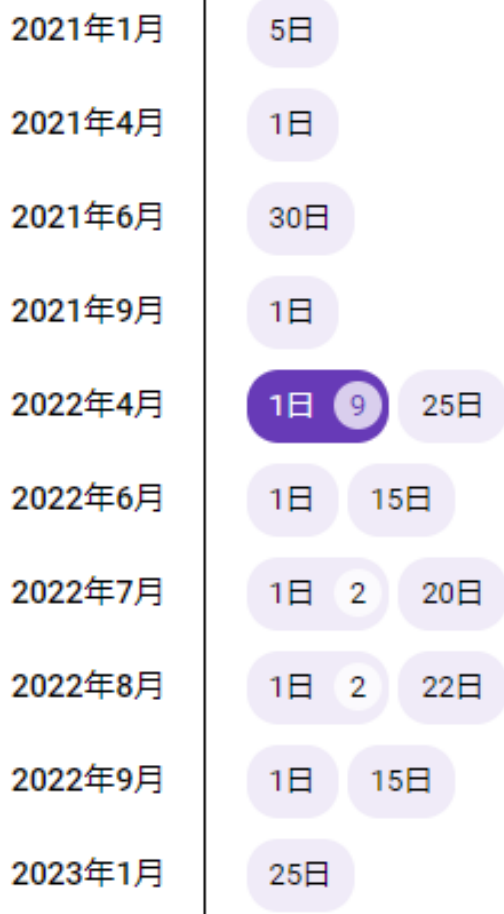
「医療的ケア児支援センターの支援内容に関する調査」アンケート回答集約結果

【回答数 25 件】

Q1 貴センターの所在地をお答えください。

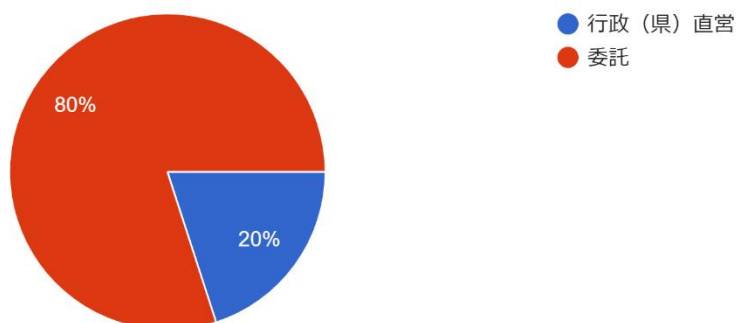
22 都道府県 25 市町村のセンターから回答あり

Q2 貴センターの医療的ケア児支援センターとしての開設年月をお答えください。



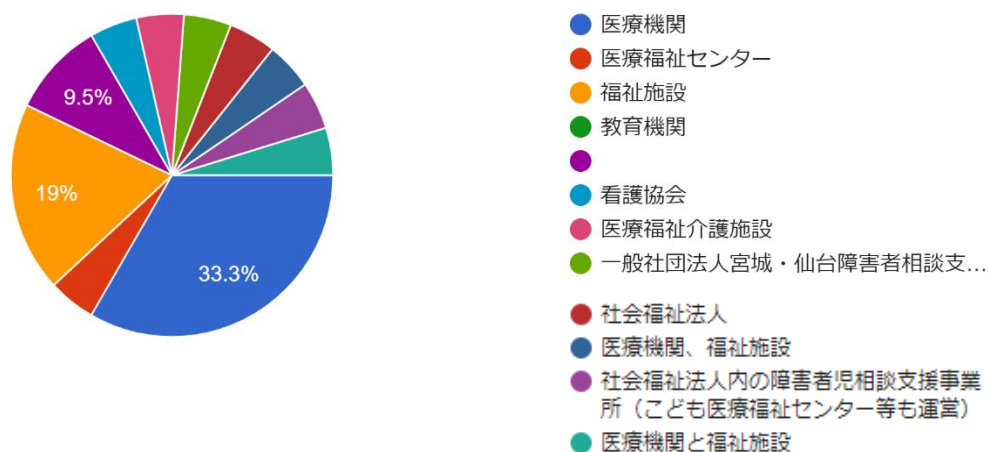
### Q 3 組織の運営形態はどれですか。

25 件の回答



### Q 4 (Q 3で「委託」と答えた施設のみ) 委託先はどこですか。

21 件の回答

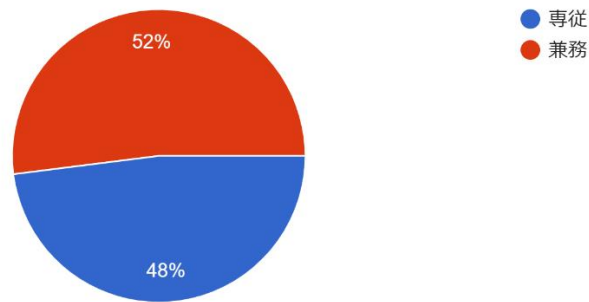


### Q 5 医療的ケア児支援センターとしての職員体制についてお答えください。

常勤 1、非常勤 1（2）、常勤 1、非常勤 2（1）常勤 1 非常勤 3（2）常勤 1、非常勤 4（1）  
常勤 2（2）常勤 2、非常勤 1（3）、常勤 2 非常勤 2（2）  
常勤 3（2）常勤 3 非常勤 1（1）、常勤 3 非常勤 2（1）  
常勤 5（2）、常勤 5 名、非常勤 2 名（1）  
常勤 6、非常勤 1（2）  
常勤 7（2）、常勤 7、非常勤 1（1）

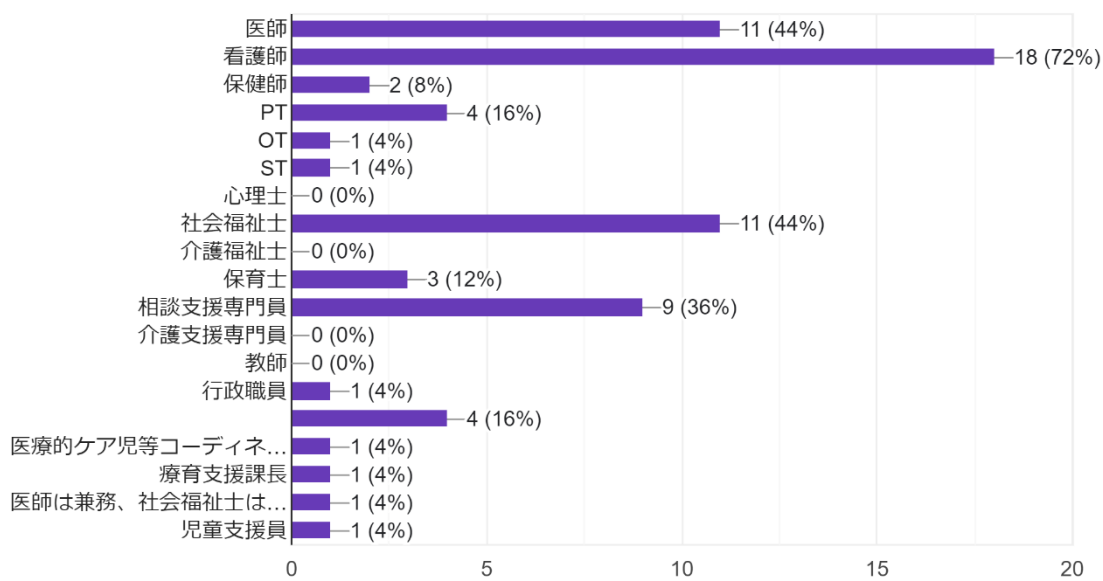
Q 6 常勤職員の職務形態について○で囲んでください。

25件の回答



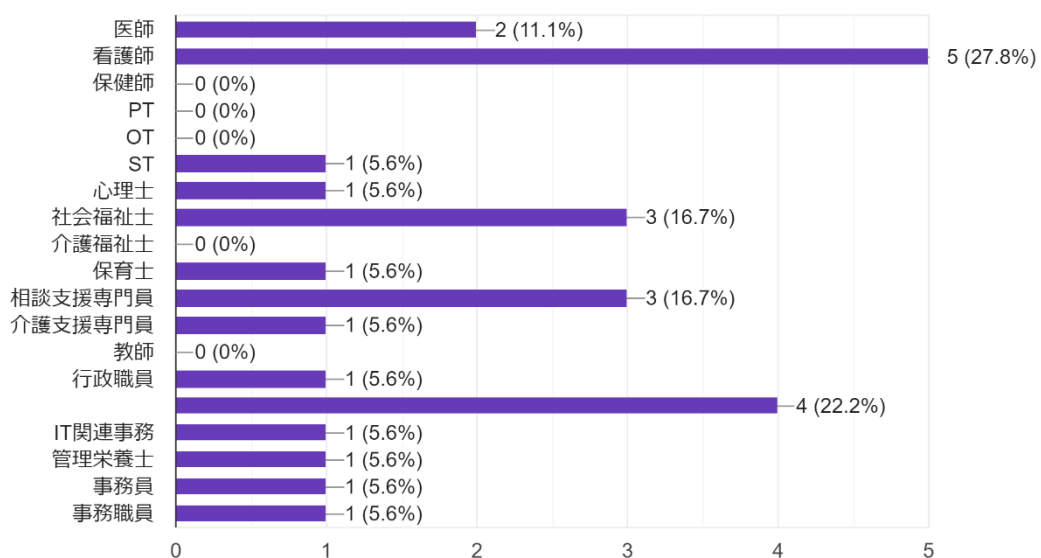
Q 7 常勤職員の職種を○で囲んでください。

25件の回答



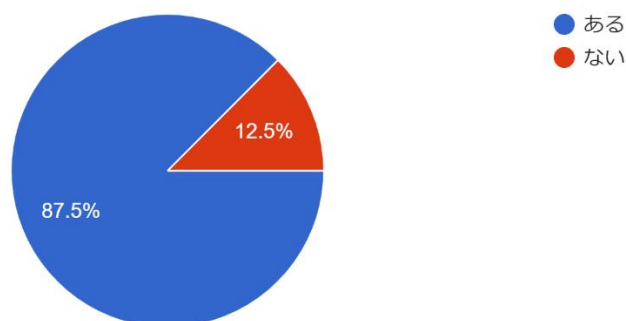
Q 8 非常勤職員の職種を○で囲んでください。

18件の回答



Q 9 行政からの経済的支援はありますか。

24 件の回答



Q10 (Q9で「ある」と答えた施設のみ) どのような支援なのか具体的にご記入ください。

19 件の回答

委託費 (13)

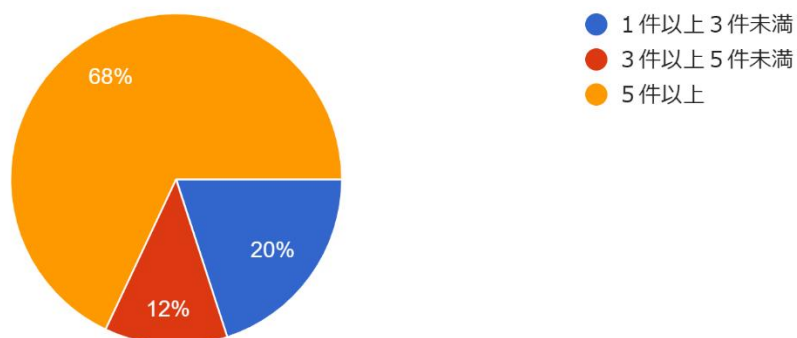
金銭、人件費を含めて全額県からの補助、自動車・パソコン貸与  
県予算で開設支援事業費補助金、医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業費  
予算要求後の配分、厚労省からの指示通りの非常勤(専従)職員への人件費  
人件費、事務費、センター開設支援費等。(約1300万程度)  
医療的ケア児支援アドバイザーへの謝礼金等の支給。

開設費用(備品等購入費)1,000千円

Q11 相談件数についてお答えください。医療的ケア児支援センターとして開設後、月平均で何件のご相談がありましたか。

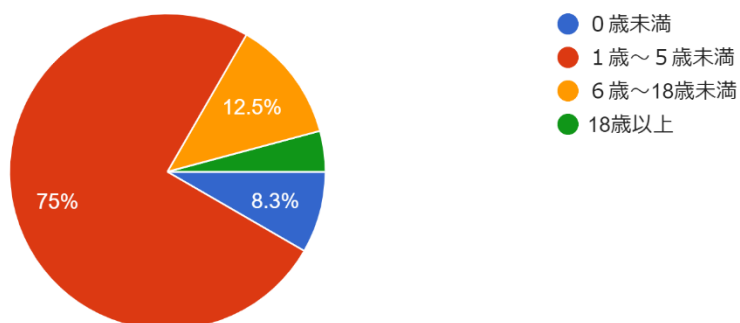
Q11 相談件数についてお答えください。医療的...開設後、月平均で何件のご相談がありましたか。

25 件の回答



Q12 最も頻度の多い相談児の年齢についてご選択ください。

24件の回答



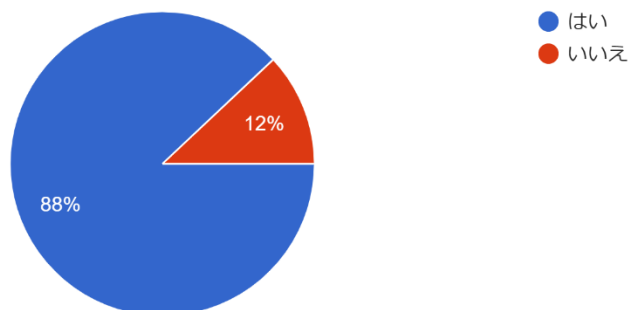
Q13 開設以降、トータルで何件の相談件数がありましたか。

8件

20件(2)、23件、24件、25件、29件、37件、50件、52件、57件、90件、97件、100件(1月末)  
110件、120件(2/24現在)、初年度 87件 次年度12月までで128件(内新規71件)  
141件(2023年1月31日現在)、213件、250件、300件、360件、424件(令和4年12月末時点)  
687件(7月～1月まで)、730件

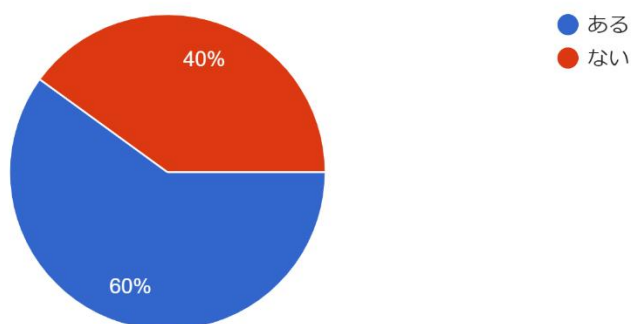
Q14 相談の対象者として18歳以上の方も対象としていますか。

25件の回答



Q15 都道府県内の医療的ケア児の実数を把握する仕組みはありますか。

25件の回答



Q16 (Q15で「ある」と答えた施設のみ) どのような仕組みなのか具体的にご記入ください。

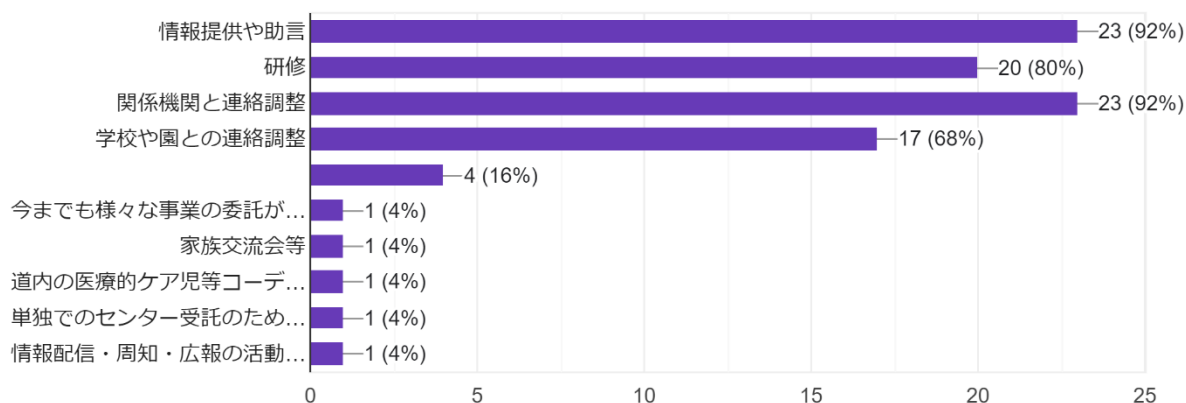
15 件の回答

- 市町保健師と県教育委員会
- ○○医療的ケア児(者)実態調査  
○○民調査として、○○内在住の0~39歳までの医療的ケア児(者)及びその家族へ、訪問看護ステーション、医療機関、学校等を通じて調査回答を依頼"
- 本年度、全市町村にお住まいの対象者の方に基本情報調査を実施しているところ。
- 年一回、5月に14項目の在宅療養指導管理料を算定している満20歳未満の患児の人数を県内、近隣の病院に依頼している。郵送で実施している。
- 県障害福祉課の調査
- 県障害保健福祉課が調査している
- ○○障害者保健福祉課の年に一度の実態調査にもとづく(ただし○○市(政令指定都市)は除く)
- 県が調査
- 令和3年度、県は市町へ依頼し、実態調査をアンケート方式で行った。各関係機関からあがったものは(実名で記入)同一人物かどうかのすり合わせを行った。自由記載により、ニーズの掘り下げも行った。
- 県にて不定期ではあるが、実態調査を行っている。現在、今後の調査方法について検討中である。
- ○○県障がい福祉課が各保健所に調査
- 現在、県内で調査方法について見直し取り組む予定である。
- 県障害福祉課と協同して在宅指導管理料等を算定している医療機関にアンケートを実施して実数を把握している。インシュリン自己注射者は実数からもれる問題はある。
- 県が市町村へ調査依頼をして回答を集める
- R4年度において、○○県が市町を通じて実態調査の実施。※R1年度も実施しており2回目。

Q17 医療的ケア児支援センター開設後、新たに始めた事業にはどのようなものが含まれますか？

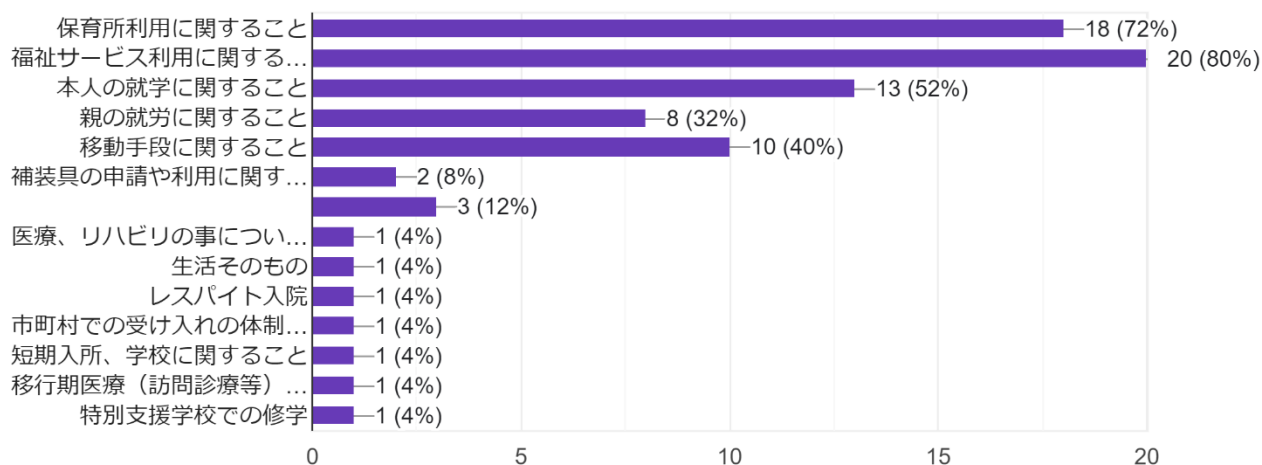
Q17 医療的ケア児支援センター開設後、新たに...はどのようなものが含まれますか？(複数回答)

25 件の回答



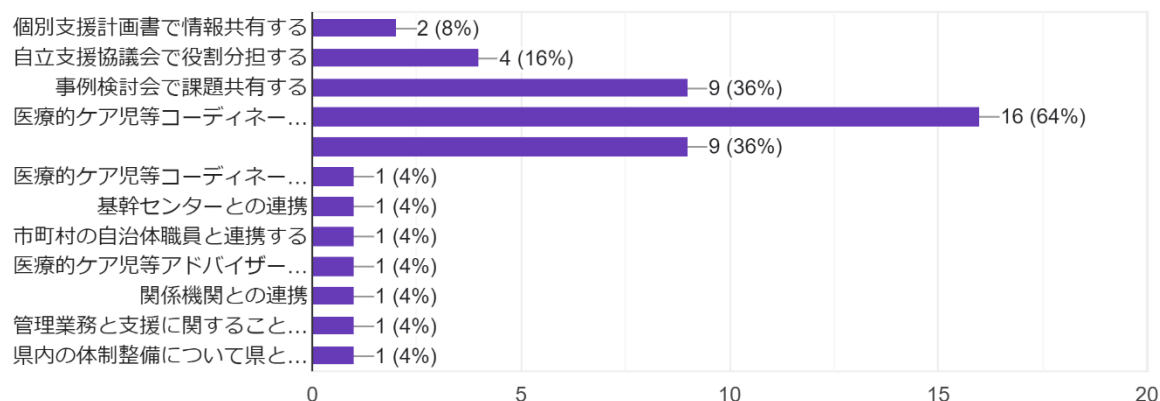
Q18 頻度の多い相談内容について以下の中から選択してください。（複数回答）

25件の回答



Q19 活動を円滑におこなうためにどのような工夫をしていますか。（複数回答）

25件の回答



Q20 （Q19で「その他」と答えた施設のみ）どのような工夫をしているか具体的にご記入ください。

15件の回答

- 医療的ケア児支援協議会
- 各機関（基幹センター、病院、保育課、医療的ケア児等支援コーディネーターのいる事業所、医師会）調査
- 関係機関訪問
- 研修企画
- 「行政による直営」を生かし、協議の場の事務局として関係各課との連携、情報共有を適宜行っている。



- 福祉支援への連携窓口を依頼
- 各自治体の市町村に働きかけ、医療的ケア児支援協議会等に招聘いただき、自治体主催の研修会の講師を務めたり、自治体の事業体制整備について他市町村の好事例の情報提供をしたりしながら市町村同士の情報交換を促進したりしている
- 地域の状況や支援状況のアセスメント
- 各専門職や行政機関、教育機関などの関係機関との連携づくり"
- 直営と委託センターの混雑事業、7つの地域センターの担当者会議にて情報を共有する。
- 連絡協議会の開催(医療型短期入所事業所・重症心身障害者が通う生活介護事業所・障害児通所支援事業所)
- 地域と繋がりを持つ"
- 行政等関係機関との役割周知、連携会議の開催等を行なっている。
- 情報配信・周知・広報の活動（ホームページ立ち上げや機関誌発行等）
- 管理・運営、相談や研修、活動実績、企画の職種間共有（ミーティング等）
- 関係機関の会議等参加（センターの周知や課題、ニーズ等の情報収集、）
- 保育園、事業所等への出向援助（アウトリーチ）
- 相談者に合わせた個別的対応（例「質問の多い県の事業の利用の仕方について案内作成」、
- 「園看護師とセンター医師・SWによる電話での担当者会開催」等）
- マニュアル作成（相手方への統一した対応、業務省力、センターの運営維持の観点）
- 県下全ての自立支援協議会との連携、
- 小児在宅医療推進事業拠点病院との連携、
- 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業との連携"
- まず医療的ケア児支援センターを周知してもらうことから始めています。自立支援協議会や医療的ケア児等コーディネーター会などに参加し情報を共有しています。
- 学校、保育園等を訪問しその場でも意見交換
- 対応困難な相談があれば圏域コーディネーターと連携し、問題解決に取り組んでいる。
- センターで解決できない時は、適切な機関に情報提供し、确实につないでいる。"
- 市町関係会議へ参加し、情報共有している。
- 開設したばかりであり、今後検討。

Q21 貴センター独自の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

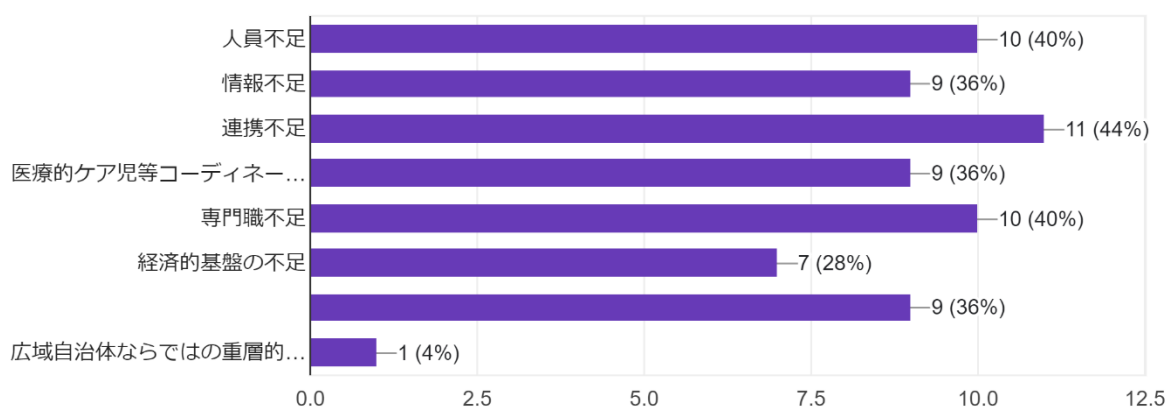
15 件の回答

- スーパーバイズ事業
- 医療的ケア児等及び重症心身障害児者を対象とする基本情報調査を実施、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者による事例検討会の開催
- 相談支援、発達障害者支援センター、就業生活支援センターとワンストップで連携している。
- 当センターでは、法律が制定される前から活動を行っておりました。顔の見える関係づくりを重視しているために、出来るだけ相談者の自宅や事業所に訪問しております

- 家族交流会の企画主催をしています。
- 人材育成としては、年一回の多職種による事例検討の研修会を企画実施しています"
- 四国地区合同の交流会(センター、家族会)
- 医療的ケア児等に関わる各分野合同行政担当合同担当者会議
- 県内障害福祉課圏域医療的部会へのサポート"
- ○○市教育委員会、○○市障害福祉課、(都道府県) 県教育委員会、(都道府県) 地域医療課による医療的ケア児支援の事業についても実施主体となっているため複数の事業を分野横断的に把握しながら行政間の繋ぎ役も担いつつ、必要な支援や情報を適切なタイミングで提供できるように務めている
- 基本は医療的ケア児の生活する地域の体制整備を主として、地域の支援者支援を中心とする県内の三次相談機関を担っている。専従職員全員が相談支援専門員と医療的ケア児等コーディネーターであるため、地域のケアマネジメントの支援力を低下させないために、セーフティネットとして、計画相談支援も必要に応じて期間を定めて、実施できる体制を整えている。
- 医療と福祉の連携を大切にしている
- 県内の医療的ケア児に関わる病院訪問
- 県全体として、電子連絡帳の利用促進、医療的ケア児等アドバイザーの派遣調整を行なっている。
- 研修会・調査の企画
- 学校看護師等連絡会設立の準備、県下市町村に医ケア児 co 配置計画、動ける医ケア児等社会資源の少ない児童をセンターのある医療型障がい児入所施設にて受入れノウハウなど地域にバックアップするなどモデル的に試みている
- 地域でのコーディネーター会議どうしの県内での連携等
- 2年ごとに医療的ケア児を受け入れている事業所を調査(地域資源調査)。機関紙の発行。
- 特になし

## Q22 活動を継続するにあたり何が課題だと思われますか(複数回答)

25件の回答



Q23 (Q22 でその他と答えた施設のみ) どのような課題か具体的にご記入ください。

10 件の回答

- 国の地域活動支援事業の枠組みでの現在の補助額では、執行体制を充実し、事業を展開するためには財源が不足する。
- センターが設置されている看護協会に活動が理解されにくい
- ○○は全国随一の広域自治体である。そのため全ての市町村の状況をセンター機能のみで的確に把握することは困難。ゆえに医療的ケア児等コーディネーターが必要とされる自治体に確実に配置され、彼らとの情報共有を密にすることで情報を一元化し、好事例を共有しあいながら全体のサービスの質の向上に努める必要がある
- ①事業展開をしていく上で、各市町村のアセスメントが進み同時に課題が抽出される。医療的ケアがあっても住みたい地域で住めるよう、体制整備を実施していくにあたっては、エビデンスに基づく事業計画を立案する方向でいるが、それに対する予算措置の不透明さは課題と捉えている。  
②医療や福祉の過疎地域における、こども、障がい、高齢者を含む、包括的な地域資源開発のための人材育成。  
③地方部の小児在宅医療の推進  
④移行機医療支援センターが未設置であること  
⑤医療的ケア児の発達支援に関する人材育成  
⑥市町村行政の関係する課の横連携"
- 政令指定都市との連携
- 医療と福祉の連携
- コーディネーターの育成
- 市町村との連携、意識改革
- 実数、現状把握"
- 医療的ケア児等コーディネーターの活動の場が明確でない
- センター業務専任で対応できる職員が少ない
- 県域が対象であるため地域特性に応じた仕組みづくりに困難を感じる、教育行政の壁、行政の縦割り、医療的ケア児の実数の把握
- 兼務のため、対応できる相談業務の時間（活動日）が限られている。支援センターを開設したものの、人員等の体制を整えているところである。
- 市町村、医療的ケア児等コーディネーター及び相談支援専門員の情報・知識不足や医療的ケア児支援に対する消極的姿勢。
- 医療的ケアのある障害者全般にかかる苦情相談窓口になりかねず、本来の目的達成に支障。
- 学校での修学問題の相談が多く、その他センターとして対応困難な問題にどう対処し理解を得ているか。

Q24 課題を解決するために、何が一番必要だと思いますか。

25件の回答



Q25 貴都道府県には貴センターを含んで「医療的ケア児支援センター」もしくはそのサテライトは何か所ありますか？ Q25

Q25 貴都道府県には貴センターを含んで「医療...」もしくはそのサテライトは何か所ありますか？

25件の回答

